

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

多面に輝く人たち

県内各地でご活躍の皆さまを「多面に輝く人たち」と題して、スポットをあてご紹介します。

今回は、御浜町・紀宝町で活動している「御浜地域環境活動組織」の事務局をしている御浜土地改良区の永田事務局長さんと事務員の山田さんをご紹介します。(令和4年12月投稿)

みはま ちいき かんきょう かつどう そし き 御浜地域環境活動組織

「生かされて、生きる」～みかん農家とともに～

永田 ゆかりさん【事務局長】

御浜町生まれ、御浜町育ち。
1998年に御浜土地改良区に事務員として就職。
2008年に事務局長に就任。(写真左)



山田 美嘉さん【事務員】

大阪府生まれ、御浜町育ち。
2010年に御浜土地改良区に就職。
以降12年間永田さんとともに柑橘農家を支える。
(写真右)

INFORMATION

国営事業で造成された柑橘の14団地内で、土地改良区の組合員である農家や各団地の地域住民とともに、約290haのみかん畑を守るため、多面的機能支払交付金活動に取り組んでいます。

「仕事帰りに見てきたよ!」と言ってもらったり、ブログに写真を載せてもらえたりして、とても嬉しかったです。

Q3: 苦手なことを乗り越えられる原動力は何ですか

A3:(永田) 周りの助けてくれる人や応援してくれる人の存在です。中学生の時に担任の先生から「生かされて、生きる」という色紙をもらって、当時は意味が分からなかったのですが、今になってやっと分かってきました。

(山田) 農家さんに「改良区がなかったらあかん」と言ってもらえると、とても嬉しいです。

Q4: 今後の目標を教えてください

A4:(永田) 書類をデジタル化して、事務の効率化をしていきたいです。また、最近は多面的の活動に参加したり、会計などの役職に就く組合員の女性が増えています。「一緒にやろう!」と声かけをしながら、もっとたくさんの女性に活動に参加してもらいたいと思います。

Q1: 事務局長になる時のお気持ちはどうでした

A1:(永田) 私は、人前に出るととても緊張するタイプなので、こんな私に事務局長が務まるのか、不安でした。でも、当時同じ町内にあった別の土地改良区の事務局長を女性がしていて、その方が頑張っているのをすぐ近くで見ていたので、私も頑張ろうと思いました。

(山田) 永田さんは今でこそバリバリ仕事ができるイメージがありますが、事務局長に就任したばかりの頃は、総会の度に何度も進行の練習をしていました。見えないところで努力する姿を私はそばで見て応援してきました。

Q2: 多面的の活動で工夫していることは何ですか

A2:(永田) 景観形成や活動のPRのために、様々な植物を団地沿いに植えています。毎年知り合いに相談しながら何を植えるかを決めています。今年は夏にひまわりを植えて、その場所を示したマップを作り、広報に力を入れました。

永田さんイチオシ!
御浜町おすすめスポット



「七里御浜ふれあいビーチ」
なんととっても青い海!
いつも海に語りかけています